



子育てLabo

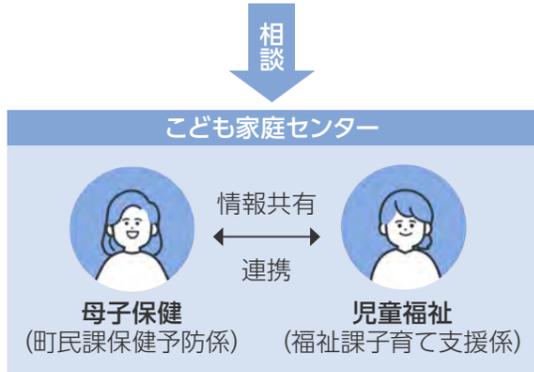
こども家庭センターのスタッフが子育てについての情報を発信していきます!

今月のピックアップ

こども家庭センターをご利用ください

問 氷川町こども家庭センター ☎0965-62-3456

こども家庭センターは妊娠・出産・子育てに関する相談窓口です。妊娠中や子育て中の不安や悩み、こども自身の悩みや家庭内の心配ごとなど、お気軽にご相談ください。



センターはいつ開いていますか?

平日の8時30分から17時15分までです。電話での相談もお受けしています。

相談に予約は必要ですか?

不要です。開館時間はいつでもお越しください。事前に連絡をいただくと、よりスムーズに対応できます。

こんなことで相談していいのかなと思ってしまいます・・・

悩みの形は人それぞれです。話すことで楽になることもたくさんあります。相談は個室でお受けしますので、安心してご相談ください。

お互いに心配りを

4月は子どもも大人も新しいスタートの月です。子どもたちの多くは、進級や進学などで期待に胸を膨らませていることと思います。しかし、中には不安でいっぱいの子どもたちもいます。大人の皆さんの中にも、異動や環境の変化などで不安を抱えながら仕事をしている人も多いと思います。私事になりますが、以前、異動で学校現場からあしきた青少年の家の勤務になったことがありますが、初めての仕事ばかりでなかなか馴染めずに、4月から1カ月ほどは通いたくありませんでした。その期間は、見習い職員としての仕事

でしたが、丁寧に指導してもらったおかげでどうにか乗り切ることができました。また先輩職員に分からないことは遠慮なく尋ねていようと思えます。分からないことはそのままにせず、周りの人に「聞くことの大切さ」を学ぶことができ、その後の自分の仕事にとても役立ちました。私が無事に仕事を終えることができたのも、周りの人の助けがあったからだと感じています。4月は特に、家庭や職場での会話を多くしながら、お互いに心配りをしてみてはいかがでしょうか。



人が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町

人権啓発コーナー

問 生涯学習課 ☎0965-52-5860

毎月11日は人権を確かめあう日です

人権に関する動画を放映します。皆さんの参加をお待ちしています。

- テーマ 「子どもの人権(子どもの権利条約)」
■ 日時 4月11日(金) 13時30分
■ 場所 氷川町文化センター ロビー

町民文芸

投稿先 〒869-4814 氷川町島地642番地 企画財政課宛 (毎月5日必着)

短歌

合否報涙を堪え泣きに来て
桜散る日もありにけり
北野津 井田 道寛
手なれした光で学ぶ学童の
昔の暮らし資料館にて
西野津 古崎 スエノ
傘さして眺める庭の片隅に
路の花は雨降り注ぐ
西野津 古崎 栄子
咲いた咲いたチュリップの花が
庭先の花壇の中央で妻にも見せたい
西上宮 廣瀬 小亀
おついたち氏神様に参ります
西上宮 廣松 真実子
風の群れ浴び感謝感謝
西上宮 廣松 真実子

俳句

水底の魚影すばやし春の川
北野津 井田 道寛
春近しラインしようおかベン取るか
西野津 古崎 スエノ
変りなく川は流れる春一番
西野津 古崎 栄子
友と植えし山櫻の苗が葉芽を出す
西上宮 廣瀬 小亀
初雪や下校の子らの声はづみ
西上宮 廣松 真実子
明治の世モース迎えし野津古墳
西上宮 山下 環
氷川にて育ちし葉で巻く桜餅
上鹿島 三枝 恵

八火図書館だより

☎0965-62-3489

4月23日から5月12日までは、こどもの読書週間です。67回目となる今回の標語は『あいことばは ヒ・ラ・ケ・ホ・ン!』です。この週間は、大人が子どもに本を手渡す週間とも言われます。この機会に、多くの子どもたちが本を手にとって心が動く体験ができることを願っています。



新着図書紹介

- 一般書
普通の子 / 朝比奈 あすか
あえのがたり / 加藤 シゲアキ 他
左太夫伝 / 佐々木 譲
ふたたび歩き出すとき 東京の台所 / 大平 一枝
■ 児童書
カリジェの町の大時計 / むまのう まき
今日にかぎって / 樺島 ざくろ
いつまでもともだち / 仁科 幸子
さんになだけのないしょのはなし / スージィ

おすすめ図書

謎の香りはパン屋から / 土屋 うさぎ
クロワッサン、フランスパン、シナモンロール、チョココロネ、カレーパン・・・
焼きたてのパンの香りが広がる、パン屋を舞台とした《日常の謎》連作ミステリー!
第23回『このミステリーがすごい!』大賞受賞作。

2025年度本屋大賞ノミネート10大作品

- アルプス席の母 / 早見 和真
カフネ / 阿部 暁子
禁忌の子 / 山口 未桜
恋とか愛とかやさしさなら / 一穂 ミチ
小説 / 野崎 まど
死んだ山田と教室 / 金子 玲介
spring / 恩田 陸
生殖記 / 朝井 リョウ
成瀬は信じた道をいく / 宮島 未奈
人魚が逃げた / 青山 美智子

本屋大賞発表の4月9日が待ち遠しいですね!



『金閨寺燃ゆる』
三島由紀夫「金閨寺」から その5
法道寺 本田 花風
次に、その女たち。女たちは、有為子が一つの基準となり二分化されていく。私が有為子の影を感じた女は、娼婦・下宿の娘・生花の師匠である。
「私」が関係を持つ他の女たちと照らし合わせてみると、まず娼婦は性的な象徴であること、流産をして母になり損ねたことが共通する。次に下宿の娘は、失敗に終わったものや「私」にとっけて初めて実際に女として触れた性的な存在であったこと、「私」に向かってその吃音を正面から指摘したことが、本質的な部分で有為子と共通している。生花の師匠は、「私」が有為子の幻想を抱く女たちの集大成だといえる。最も多くのベージが割られていたのは彼女、その美しさは勿論のこと、戦場へ行く士官との間に子どもが出来たものの死産に終わり母になり損ねたこと、柏木によって汚された「私」との交渉をもととする性的な象徴であることなどが共通している。
次に養賢の供述書を紹介する。
第一回供述書では素直に自分がやりましたと言いつつ、放火の原因については「無意味にやりました」といい、「私の主観では悪いことをしたとは思いません」と語っている。
第二回供述書は
一、私が金閨を焼いたことは、私の行いを見るに美に似ているので美に対する嫉妬の考えから焼いたのですが、真の気持ちには表現しにくいのであります。
一、私の現在の心境は金閨を焼いたことに対する責を負ふ覚悟で居ります。現在でも悪いことをしたといふ考えは余りありません。
一、私達お互いの生活は苦しいけれども、金閨寺に毎日何百人かの人がぞろぞろ遊びに来ることに付けても或程度の嫉妬を感じて居りました。